



佳作(えひめ洋紙株式会社賞)

零 戦

真部 信輔

木 ダンボール

講評

幼い頃、近所で建築中の家を見かけると、大工さんに木の端材をたくさん貰って、船や車、飛行機を作ったものです。様々な形の端材を前に、どのように組み合わせたら、カッコイイ形になるのか、金づちと釘、そしてのこぎりを駆使して制作する中、際限なくイメージの羽が広がっていきました。「零戦」を目にした時、そんな昔の思い出がよみがえりました。山を背景に海原を眼下に見ながら、雲海の中を悠々と飛行する零戦のエンジン音が今にも聞こえてきそうです。段ボールのちょっとチープな素材感や大胆な筆使いと色調もどこか懐かしい作品です。(原田義明)